

形楠ノ葉ニ似テ、本狹ク末濶シ、鋸齒ナク、毛刺ナク、厚シテ深綠色ナリ、葉中ノ縦脈背ニ起發シテ、劍脊ノ如シ、長ズルニ隨テ落葉シテ、莖ニハ葉痕ト刺ヲ存ス、甚寒氣ヲ畏ル、冬月土窖ニ育スレバ落葉セズ、扨挿シテ能活ス、

〔草木育種下〕葉或實視べきもの仙人掌雜記南

又霸王樹ともいふ、本暖國より來る、駿河安房等には

大樹ありて、花を開實を結、花は老虎黃かほいろにして形黃薔薇のごとし、實は母指の大にして中に仁あり、蒔てよく生ず、又枝を折て折口へ灰を付、少し日に乾て植れば、よく活？ものなり、夏中人糞汁を澆べし、近頃白斑あるものあり、又石下さばてんと云あり、扁して枝少く、其形狀扇をひらくがごとし、或云さばてんの汁、目に入る時は盲といふ、

〔多識編二〕蔓草使君子、今案可羅久知那志、異名留求子、

〔書言字考節用集〕生六使君子カクナシ蔓草也、一シクシ本草、其蔓如葛繞樹而上、葉如五加葉、

〔和漢三才圖會九十六〕蔓草使君子 留求子

本綱使君子原出嶺南交趾、今閩蜀皆栽種之、亦易生、其藤如葛繞樹而上、葉青如五加葉、五月一簇一二十、葩紅色、輕盈如海棠、其實長寸許、五瓣、合成有稜、類卮子、嗽時半黃、老則紫黑、其中仁長如榧子、色味如栗、久則油黑、不可用、此藥療小兒疾、故名留求子、

氣味甘温 治小兒百病、五疳、小使白濁、瀉痢、虛熱、健脾胃、凡殺蟲藥多是苦辛、惟使君子榧子甘而殺蟲亦異也、服之者忌飲熱茶、犯之即瀉、此物殺蟲小兒要藥也、俗醫乃謂殺蟲至盡、無以消食、鄙俚之言也、樹有蠶屋有蟻國有盜、福耶禍耶、修養者先去三尸、可類推也、

按原始曰、使君子味甘、即是用肉、然肉少難得、今醫家或兼用也、近來所渡者多無仁、故皆用殼、

〔重修本草綱目啓蒙十四〕蔓草使君子

一名風稜御史輟耕

史君子名花譜、群芳譜、本草彙言、史均子肉正醫學傳

使

君花花曆百 詠、花名、

使君子